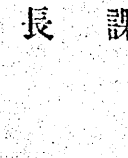


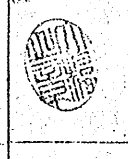

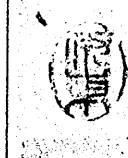
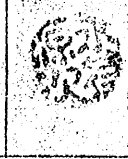



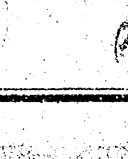
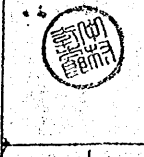


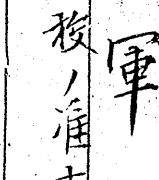
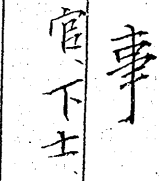



0295

決裁指定

久
関

大臣 領受 大正 年 月 日 三月廿五日 後行	大臣 領受 大正 年 月 日 三月九日	局長	課長   	事務局長 領受 大正 年 月 日 二月二十五日	局長   	課長 	決定済認証	局長 	主務 	主務 	課員 	大臣 姜	次官 	高級 副官 	主務 副官 	主務 官房 	受領番 陸軍 二八五 陸軍平時編制三基少官衙學校ノ准士官下士判任各官 定員区分表中改訂ノ件   	連帶 兵務 銃主 補 匠務 陸軍省 2.10 陸軍省 2.1.31 陸軍省 2.1.14 陸軍省 2.1.4 陸軍省 2.11 陸軍省 2.25 陸軍省 2.11 陸軍省 2.11 陸軍省 2.11 陸軍省 2.11 陸軍省 2.11 陸軍省 2.11
-------------------------------------	------------------------------	----	---	----------------------------------	---	---	-------	---	---	---	---	---------	---	--	--	--	---	---

左頁

副官ヨリ關係部隊へ通牒案

(通牒先別紙ノ通)

大正十四年陸普第一九二六號官衙學校ノ准士官下士官判任文官定員區分表中左記ノ通改正セラル

左記

第七表及第八表ヲ別表ノ如ク改ム

陸省

陸普第六八三

號

三月廿八日

シ

通 牒 先

人事局長(補恩)	三	被服本廠長	一
軍務局長(兵衛防馬)	五	糧秣本廠長	一
兵器局長(銃)	二	參謀本部庶務課長(測大學校)	三
經理局長(主衣)	三	東京整備司令部	一
醫務局長(衛医)	三	教育總監部庶務課長	一
技術本部長	一	砲工、步兵、騎兵、野戰砲兵、重砲兵、工兵、通信幼年營、戸山自動車學校	一、二
軍馬補充部本部長	一		
兵器本廠長	一	工科學校長	一
造兵廠長	一	經理學校長	一
科學研究所長	一	軍醫學校長	一

陸 軍 省

説明ターゲット

次の原稿不鮮明

0299, 0300

5年7月15日

主務者又は

撮影立会者

加部東保夫



第七表

陸軍兵器廠准士官下士判任文官定員區分表

考 備	兵 器 廠								廳 區 分		
	計	支 廠							砲	工 計	
		小 倉	廣 島	名 古 屋	大 阪	千 葉	東 京	本 廠			
一、印ラ附ミタルモ、ハ兼勤ヲ示ス 二、印ラ陸軍平時編制附表第四十一號備考(七)ニ依ル增加人員ヲ示ス 三、砲工兵諸工長ハ必要ニ應シ定員内ニ於テ各科ヲ融通シ又ハ各兵科ノ下士ヲ以テ充ツルコトヲ得 四、陸軍兵器廠准士官、下士判任文官ハ必要ニ應シ本支廠ヲ通シ彼此増減スルコトヲ得 五、本廠附計手ハハ正壞出張所勤務トシ當該出張所所在地軍隊附計手ノ兼勤トス又千葉支廠附看護 六、當該支廠所在地軍隊附看護長ノ兼勤トス 七、當該支廠所在地軍隊附看護長ノ兼勤トス 八、當該支廠所在地軍隊附看護長ノ兼勤トス 九、當該支廠所在地軍隊附看護長ノ兼勤トス 十、當該支廠所在地軍隊附看護長ノ兼勤トス 十一、當該支廠所在地軍隊附看護長ノ兼勤トス 十二、當該支廠所在地軍隊附看護長ノ兼勤トス 十三、當該支廠所在地軍隊附看護長ノ兼勤トス 十四、當該支廠所在地軍隊附看護長ノ兼勤トス 十五、當該支廠所在地軍隊附看護長ノ兼勤トス 十六、當該支廠所在地軍隊附看護長ノ兼勤トス	一八	四	三	二	二	二	四	四	砲	准士官	
	△一	△一	△一	△一	△一	△一	△一	△一	△一	工	各兵科下士
	△一	△一	△一	△一	△一	△一	△一	△一	△一	計	
	△三		△一					△一	△一	砲	砲兵工長
	△一		△一							工	
	△五									輜	工兵工長
	△九									計	
	△二	△四	△三	△二	△三			△三	△五	火	工長
	△六	△二						△一	△二	鞍	
	△一	△四	△一	△一	△一			△二	△三	銃	工兵工長
	△一	△一	△一					△一	△二	鍛	
	△四				△一	△一			△一	木	工兵工長
	△五							△三	△一	機	
	△七				△一	△一		△三	△一	電	工長
	△六	△一	△六	△六	△五	△七	△六	△八	△四	計	
	△二									手	各部下士
△一		△一	△一	△二	△一	△二	△三	△三	計		
△一									看	判任文官	
△一									計		
△二								△二	屬	判任文官	
△六		△一		△一	△一	△一	△二	△二	手		
△一		△一						△四	技	計 合	
△一									計		
	△一	△一	△一	△一	△一	△一	△一	△一	計		

陸軍兵器廠准士官下士判任文官定員區分表
 一、本廠准士官、下士判任文官ハ必要ニ應シ本支廠ヲ通シ彼此増減スルコトヲ得
 二、本廠准士官、下士判任文官ハ必要ニ應シ本支廠ヲ通シ彼此増減スルコトヲ得
 三、本廠准士官、下士判任文官ハ必要ニ應シ本支廠ヲ通シ彼此増減スルコトヲ得
 四、本廠准士官、下士判任文官ハ必要ニ應シ本支廠ヲ通シ彼此増減スルコトヲ得
 五、本廠准士官、下士判任文官ハ必要ニ應シ本支廠ヲ通シ彼此増減スルコトヲ得
 六、本廠准士官、下士判任文官ハ必要ニ應シ本支廠ヲ通シ彼此増減スルコトヲ得
 七、本廠准士官、下士判任文官ハ必要ニ應シ本支廠ヲ通シ彼此増減スルコトヲ得
 八、本廠准士官、下士判任文官ハ必要ニ應シ本支廠ヲ通シ彼此増減スルコトヲ得
 九、本廠准士官、下士判任文官ハ必要ニ應シ本支廠ヲ通シ彼此増減スルコトヲ得
 十、本廠准士官、下士判任文官ハ必要ニ應シ本支廠ヲ通シ彼此増減スルコトヲ得
 十一、本廠准士官、下士判任文官ハ必要ニ應シ本支廠ヲ通シ彼此増減スルコトヲ得
 十二、本廠准士官、下士判任文官ハ必要ニ應シ本支廠ヲ通シ彼此増減スルコトヲ得
 十三、本廠准士官、下士判任文官ハ必要ニ應シ本支廠ヲ通シ彼此増減スルコトヲ得
 十四、本廠准士官、下士判任文官ハ必要ニ應シ本支廠ヲ通シ彼此増減スルコトヲ得
 十五、本廠准士官、下士判任文官ハ必要ニ應シ本支廠ヲ通シ彼此増減スルコトヲ得
 十六、本廠准士官、下士判任文官ハ必要ニ應シ本支廠ヲ通シ彼此増減スルコトヲ得

第八表

陸軍造兵廠准士官下士判任文官定員區分表

考 備	計		造兵廠		廳名分		區分	
	△三	一六 一七 一八 一九 二〇 二一 二二 二三 二四 二五 二六 二七 二八 二九 三〇 三一 三二 三三 三四 三五 三六 三七 三八 三九 四〇 四一 四二 四三 四四 四五 四六 四七 四八 四九 五〇 五一 五二 五三 五四 五五 五六 五七 五八 五九 六〇 六一 六二 六三 六四 六五 六六 六七 六八 六九 七〇 七一 七二 七三 七四 七五 七六 七七 七八 七九 八〇 八一 八二 八三 八四 八五 八六 八七 八八 八九 九〇 九一 九二 九三 九四 九五 九六 九七 九八 九九 一〇〇	△三	△三	△三	△三	△三	△三
一、△印ハ陸軍平時編制附表第四十三號備考一〇ニ依ル增加人員ヲ示ス 二、レノ人員ハ大正十三年陸密第九七號ニ依ル缺員ヲ示ス 三、砲工兵上等工長ハ准士官ノ定員内ニ於テ彼此融通スルヲ得 四、下士及判任文官ハ當分ノ内必要ニ應シ各俸給豫算及定員ノ範圍内ニ於テ兵 科工科ヲ融通シ且ツ下士ト判任文官ト其人員ヲ融通スルコトヲ得 五、必要ニ應シ屬ノ内四名以内ハ計手ヲ以テ充ツルコトヲ得	砲工計	砲工計	砲工計	砲工計	砲工計	砲工計	砲工計	
	火銃	火銃	火銃	火銃	火銃	火銃	火銃	
	銃鍛	銃鍛	銃鍛	銃鍛	銃鍛	銃鍛	銃鍛	
	木機	木機	木機	木機	木機	木機	木機	
	電	電	電	電	電	電	電	
	工長	工長	工長	工長	工長	工長	工長	
	各部下士	各部下士	各部下士	各部下士	各部下士	各部下士	各部下士	
	判任文官	判任文官	判任文官	判任文官	判任文官	判任文官	判任文官	
	計合	計合	計合	計合	計合	計合	計合	

附表第四十三號備考
 一、等工長
 下士判任

0301

附表 島根県下等小學校(向)ノ 職員人員

本表外

二等主任 三名

下等主任 十九名